



## 平成26年度 総合防災訓練

東北地方整備局

企画部防災課

「防災の日」の9月1日、東北地方整備局は、平成23年度に発生した東日本大震災の経験を踏まえて、震災発生時における被災状況の迅速かつ的確な伝達及び情報共有などの初動対応訓練を実施し、職員の防災能力向上を図る目的で、総合防災訓練を実施しました。

今回の訓練は、9時40分に日本海中部沖を震源として最大震度6強の大規模地震が発生し、大津波警報(3~5m)が発令されたものと想定し、災害対策本部及び支部を立ち上げ、大型モニタを利用した情報共有、関係機関相互のリエゾン派遣、重点事務所とのTV会議、市長と整備局長との衛星通信回線を利用した情報交換等を行いました。その他、防災エキスパート出動要請訓練も実施しました。

主な訓練概要を事項に示します。

### 1. 初動体制確立・初動指示

災害対策本部設置は、発災直後に職員が災害対策室に参集し、縄田局長からの本部長指令第1号の伝達がありました。

総合防災情報システムへの参集者確認・家族安否確認、庁舎・宿舍点検、各所管施設点検等の災害対策体制入力を実施するほか、災害対策ヘリコプタ「みちのく号」の緊急発進指示を行っております。

### 本部長指令 第1号

- I 震災対応にあたり整備局全職員は、速やかに情報収集し、1時間を目途に報告を行うこと。
  - 1 職員の安否・家族の安否を確認すること。
  - 2 庁舎、宿舍、情報通信設備、電源設備の状況を確認すること。
  - 3 管内の所管設備の状況を確認すること。
  - 4 みちのく号にて情報収集を行うこと。
- II 必要な自治体に対しては、躊躇せずにリエゾンを派遣すること。
- III 情報発信の準備として、外部からの窓口を広報聴官に一本化すること。
- IV 各自、対応記録を時刻を付けて記録すること。



本部長指令を発する縄田局長

### 2. 津波来襲情報伝達訓練

今回初めて、津波防災支援システムにより、管内の地震発生状況及びGPS波浪計

による津波第1波観測情報を大型モニタに表示させて、災害対策本部での情報共有を図る訓練を実施しました。



大型モニタに表示された津波防災支援システム  
(地震及び津波第1波観測情報が表示中)

### 3. 情報交換訓練

関係機関との情報交換として、緊急発進した災害対策ヘリコプター「みちのく号」をはじめ、東北方面総監部、東北管区警察局、第二管区海上保安本部所属の各ヘリコプター（警察局及び海上保安本部は、録画映像等）から送られてくる映像を受信し、本部災害対策室大型モニタに映し出すとともに各関係機関へみちのく号映像を配信することで、情報交換訓練を行いました。

また、搭乗員から被災想定場所の飛行上空からのアナウンス訓練を実施しました。



ヘリ映像表示は、左下：海保、真中：陸自、  
左上：みちのく号、右下：警察局的配置

### 4. 自治体支援（リエゾン派遣など）

弘前市と能代市にそれぞれリエゾンを派遣し、両市役所と本部災害対策室間で衛星通信回線（Ku-Sat）を用いたテレビ会議を実施し、弘前市葛西市長、能代市齊藤市長と縄田局長が直接、被害状況報告や支援要請などの情報交換を行いました。



能代市齊藤市長とのTV会議状況

### 5. 緊急ルート確保

本部担当室と重点支部は、想定被害に基づき啓開・緊急復旧策定を行い、実働部隊編成（使用資材、機材、重機等）に必要な災害対策用機械の出動を本部に要請訓練を実施しました。

### 6. 定時報告訓練

本部各室及び自衛隊リエゾンからの体制状況、所管施設の被災状況、リエゾンや広域的なTEC-FORCE派遣、災害対策機械派遣、啓開活動、緊急復旧状況等の定時報告を実施しました。



大型モニタを利用した定時報告

### 7. 通信訓練（TV会議）

青森河川国道事務所、能代河川国道事務所、青森港湾事務所の重点3支部が、本部報告を行いました。

所管施設の被災状況と道路啓開、河川の応急復旧、航路啓開の復旧見通しなど、テレビ会議を通じて状況報告を行いました。

## 8. 記者発表訓練

今回の情報発信として、被災状況や派遣状況、啓開・応急復旧の見込みの説明を行う記者発表並びに質疑応答の形式による記者発表訓練を行いました。

記者は防災エキスパートの方々を報道機関役とし、津波被災による国道のがれき処理の必要日数や迂回路の設定、河川は緊急排水に要している排水ポンプ車の出動台数・稼働予定日数、港湾は航路啓開日数・フェリー運航に関するの代替埠頭等の質疑応答が行われました。



記者発表状況（右側が報道機関役）

（訓練を振り返り）

今回の訓練は2年ぶりの実施でもあり、反省点も様々ありましたが、東日本大震災を経験した唯一の整備局として、より実践的な訓練であったと思います。

## 新規登録状況

平成26年度の防災エキスパート新会員として、24名の方が新たに登録されました。平成26年9月末現在、登録会員数は424名となり、平常時・災害時等ご活躍いただいております。8月,10月に登録されました新会員の皆様をご紹介します。

8月1日登録 11名 (敬称略・五十音順)

氏名	登録県	登録事務所・出張所等
赤川 正一	宮城	仙台河川国道事務所・仙台東国道維持出張所
木村 信悦	青森 宮城	青森河川国道事務所・仙台河川国道事務所ほか
木村 富夫	宮城	仙台河川国道事務所・三陸国道維持出張所ほか
國松 廣志	山形 宮城	酒田河川国道事務所・月山ダム管理所
佐々木 秀明	福島	福島河川国道事務所・摺上川ダム管理所
鈴木 弘二	宮城	仙台河川国道事務所
福田 勝茂	宮城	仙台河川国道事務所
藤原 政幸	岩手	北上川ダム統合管理事務所・御所ダムほか
舟山 和重	山形	山形河川国道事務所・山形国道維持出張所
松川 正彦	岩手・宮城 山形	鳴子ダム管理所・釜房ダム管理所ほか
南 文彦	宮城	仙台河川国道事務所・岩沼出張所ほか

10月1日登録 13名

氏名	登録県	登録事務所・出張所等
阿部 幸太	山形	山形河川国道事務所・山形国道維持出張所
石川 榮一	山形	山形河川国道事務所・寒河江国道維持出張所ほか
石塚 昌志	宮城	仙台河川国道事務所、湯沢河川国道事務所
工藤 栄吉	宮城	岩沼国道維持出張所、仙台東国道維持出張所
斎藤 和男	山形	酒田河川国道事務所、酒田国道維持出張所ほか
佐々木 一夫	宮城	仙台河川国道事務所、古川国道維持出張所
佐藤 清	宮城 山形	仙台河川国道事務所、山形河川国道事務所
佐藤 慶亀	岩手 宮城	岩手河川国道事務所、北上川ダム統合管理事務所ほか
佐藤 信男	山形	酒田河川国道事務所、酒田出張所ほか
高梨 浩志	宮城	仙台河川国道事務所、名取川出張所、岩沼出張所
高橋 克己	福島	磐城国道事務所、平維持出張所、平出張所
高橋 敏彦	山形	山形河川国道事務所、尾花沢国道維持出張所ほか
田中 和博	秋田	秋田河川国道事務所、茨島出張所、大曲出張所

# 平成26年度第二四半期 防災エキスパート活動報告

## 災害時

県別	活動内容	活動場所 (事務所・出張所名)	活動年月日	出勤数 (人)	備考
青 森	【風水害】前線に伴う大雨対応	青森河川国道事務所管内 (藤崎出張所・五所川原出張所)	平成26年 7月10日	2	
			計	2	
山 形	低気圧に伴う降雨災害等の情報収集	新庄河川事務所管内 (寒河江川砂防出張所)	平成26年 7月23日	4	
			計	4	
災害時活動			合 計	延べ	6 人・日



地すべり状況確認練（寒河江川砂管内志津地区・7/10）



吉野川・妹背橋付近（7/10）

# 防災エキスパート活動報告

## 平常時

県別	活動内容	活動場所 (事務所・出張所名)	活動年月日	出勤数 (人)	備考
青 森	技術勉強会	青森河川国道事務所管内	平成26年 7月31日	9	
	総合防災訓練	津軽ダム工事事務所 浅瀬石川ダム管理所	平成26年 9月 1日	3	
				12	
岩 手	水防工法技術講習会	岩手河川国道事務所管内	平成26年 7月18日 7月29日 8月 6日	4 3 3	
	緊急対策シミュレーション検討会	岩手河川国道事務所	平成26年 9月 29日	3	
計				13	

県別	活動内容	活動場所 (事務所・出張所名)	活動年月日	出勤数 (人)	備考
宮 城	徒歩巡視	北上川下流河川事務所管内	平成26年 8月 1日	1	
	総合防災訓練	本局	平成26年 9月 1日	5	
	堤防等徒歩巡視	北上川下流河川事務所管内	平成26年 9月 16日 平成26年 9月 29日	1 1	
計				8	
秋 田	堤防決壊時の緊急対策シミュレーション	秋田河川国道事務所管内	平成26年 8月25日 平成26年 9月19日	2 2	
	総合防災訓練	秋田河川国道事務所管内 湯沢河川国道事務所管内	平成26年 9月 1日	1 2	
	洪水時の緊急対策シミュレーション	湯沢河川国道事務所管内	平成26年 9月 17日	3	
計				10	
山 形	土砂災害危険箇所等合同点検	新庄河川事務所管内	平成26年 6月 25日 7月 3日	1 3	
	道路防災エキスパート意見交換会	山形河川国道管内	平成26年 6月 17日 6月 18日 6月 25日 6月 30日	3 6 2 4	
	堤防決壊時の緊急シミュレーション	山形河川国道管内	平成26年 6月 23日 6月 27日 7月 4日 7月 30日	1 1 1 1	
	堤防決壊時の緊急対策シミュレーション	山形河川国道事務所 酒田河川国道事務所	平成26年9月 5日 9月24日	3 1	
計				27	
福 島	堤防決壊時の緊急シミュレーション	福島河川国道事務所管内	平成26年 7月31日	4	
	防災エキスパート意見交換会	福島河川国道事務所	平成26年 9月 3日	18	
計				22	
平常時活動		合 計	延べ	92	人・日



水防工法技術講習会（一関・7/18）

洪水時の緊急対策シミュレーション  
(湯沢河川国道事務所・9/17)

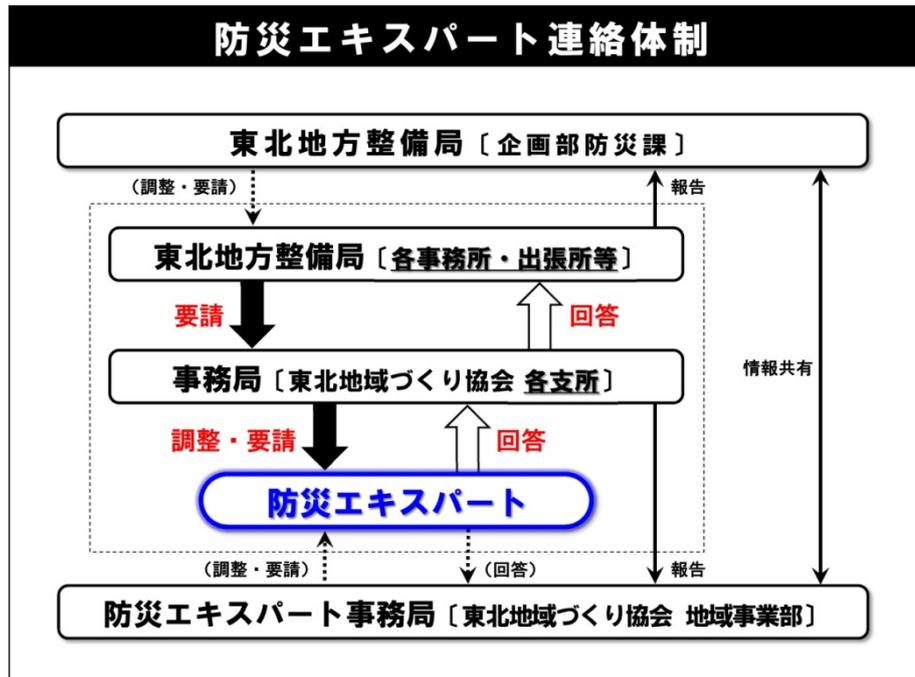
# 防災業務の応援に係る協定により防災機能を維持

東日本大震災後、防災エキスパートへの期待が一層高まっています。防災エキスパート事務局である東北地域づくり協会・各支所と事務所の防災機能を一層高めるため、各支所内に在籍する防災エキスパート等と「防災業務の応援に係る協定」を締結しました。（平成26年9月1日付）

防災エキスパートの業務内容に変更はございませんが、連絡体制並びに活動報告等提出につきまして、協定各社及び協会各支所と調整のうえ運営して参ります。

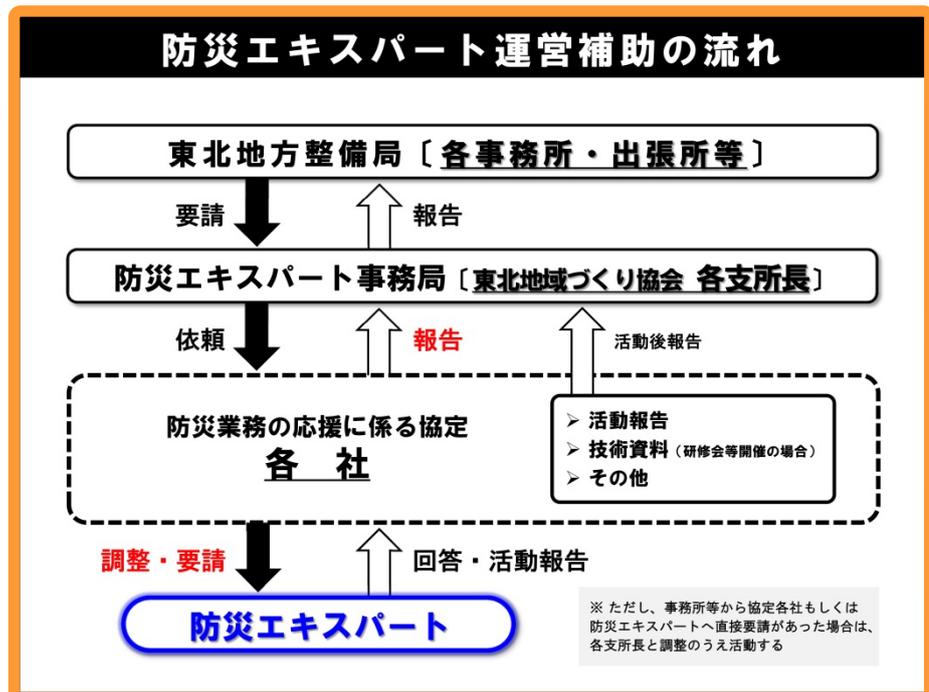
今後も防災業務の迅速かつ効率的な運営に努めて参りますので、これまで同様ご協力の程よろしくお願いいたします。

## 連絡体制 (現状)



※ 新規

## 運営補助 の流れ



# 平成26年8月豪雨 ～広島市土砂災害～

8月15日から17日にかけて本州付近に前線が停滞し、前線に向かって南から暖かく湿った空気が流れ込んだ影響により、東日本と西日本では広い範囲で大気の状態が非常に不安定となりました。京都府福知山市や岐阜県高山市等で観測史上1位を更新する等、近畿、北陸、東海地方を中心に大雨となりました。

その後も中国地方や九州北部地方を中心に大気の状態が非常に不安定となり、20日午前3時30分には、広島県で1時間に約120ミリ、22日午前4時30分には、福岡県で1時間に約110ミリの猛烈な雨を観測しました。



## 広島で発生した土砂災害の概要

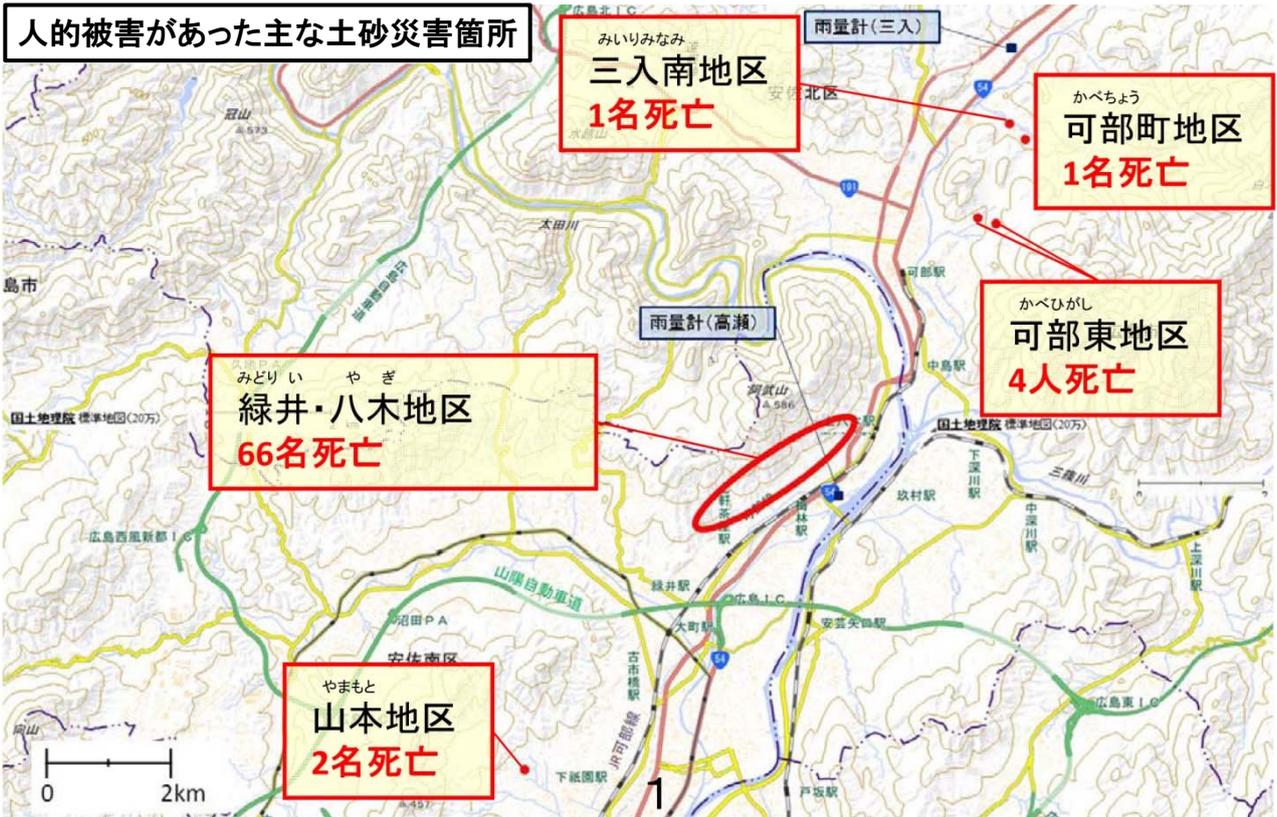
発災月日：平成26年 8月20日（水）

被害地区：広島県広島市 <sup>あさみなみ</sup> 安佐南区、<sup>あさきた</sup> 安佐北区

被災概要：※広島市のみ

- 土砂災害発生件数 166件〔土石流 107件／がけ崩れ 59件〕
- 人的被害 死者 74名〔全国：78名〕
- 家屋被害 全壊 133戸、半壊 122戸、一部損壊 174戸

（9月19日時点 広島県災害対策本部より）



（資料：国土交通省砂防部発表資料より）



安佐南区八木地区・緑井地区



安佐南区八木地区

(写真：国土交通省砂防部発表資料より転載)

## 国土交通省の主な対応

※ 広島県への対応のみ  
 ※ 国土交通省（平成26年9月24日）発表より

- リエゾン派遣 〔延べ 105人日・期間 8/20～8/31〕
- TEC-FORCE派遣 〔延べ 2,211人日・期間 8/20～9/23〕
- 防災ヘリコプターによる被害状況調査  
 〔東北地整：広島市上空より 8/21実施〕
- 災害対策用機械等出動
- 土砂除去、大型土のう設置
- 土石流センサー、監視カメラ等の設置
- 砂防堰堤等の緊急事業着手（国土交通省施工分）
- 広島県豪雨土砂災害対策推進室の設置（太田川河川事務所内） 等



出発式（中原政務官による訓示）



安佐南区緑井地区被害状況調査（8/24）



安佐南区八木町被害状況調査（8/21）



TEC-FORCE、警察、消防、自衛隊による捜索活動安全確認（8/24）

(写真：国土交通省HPより転載)

**編集  
後記**

最近、全国各地で大規模な土砂災害のニュースが続き、いつどこで災害が発生するかわからない状況となっております。風水害のみならず、御嶽山の噴火にみるように、災害の内容も様々です。

防災エキスパートによる支援活動内容も多岐にわたってきておりますので、今後とも皆様のご協力をお願いいたします。

**防災エキスパート事務局**

(東北地域づくり協会 地域事業部 中村・菅原)

TEL : 022-268-4711 / FAX : 022-211-9534

E-mail : bousai@kyokai.or.jp